

あかるい希望

あいさつ運動～中学生と共に～

23 日（火）は小中一貫教育の取組の一つとして、櫛形中学校の中学生と一緒にあいさつ運動が行われました。この日は中学校を代表して本校の卒業生 2 名が来て、児童会本部役員と一緒に登校してくる子どもたちにあいさつすることになっていました。

まずは児童会本部役員と生徒 2 名ではじめの会を行い、そのあと左右に分かれてあいさつをしていきました。登校してくる子どもたちも最初は、いつもと違う光景に驚いていましたが、あいさつ運動だとわかると、いつも以上に大きな声であいさつをしていました。「おはようございます。」「元気な声だね。」登校見守り隊の人たちも驚くくらい元気な声です。8 時過ぎになると、下市方面からも上市方面からも続々と子どもたちが登校してきます。

あいさつをしてから玄関にランドセルを置き、また校門のところに来て一緒にあいさつ運動に参加している子どもたちの姿も見えました。西小の子どもたちは、普段からも大きな声で元気にあいさつができるのですが、いつも以上の大きな声に私たちも元気をもらいました。櫛形中学校とのあいさつ運動は 2 学期も行われます。引き続き、みんなで元気あふれる西小学校をつくっていきたいと思いました。



シルクの里公園に行ってきました～1・2 年生～

2 年生の教室におかいこさんがやってきてから 1 週間。その成長ぶりに驚きの毎日を送っている 2 年生ですが、先日 18 日（木）に 1 年生と一緒に豊富のシルクの里公園に行ってきました。ここには、豊富の郷土資料館があり、昔から養蚕が盛んであったこの地の暮らしぶりを伝えるものがたくさんあります。おかいこさんを飼う 2 年生にとっては、今まさに知りたい情報が集まっています。

資料館に入るとまずスタッフの方に案内され DVD を視聴しました。蚕の一生をまとめた映像は、アップで分かりやすくなっていました。稚蚕と呼ばれる小さいうちの蚕から、5 令といって糸を吐くくらいになった大きな蚕までが映されていきました。それから、繭をつくり繭から羽化していくところまで……。子どもたちが驚いていたのは、サナギとして繭の中にいる間も生きています。そして羽化するときには、口からねばねばした液体を出して繭に穴を開けて出てくる場所でした。蚕のようすがよくわかるビデオでした。その後展示室に行き、飼うときに使う道具を見学しました。「回転もず」とその昔西地区でも言っていた蚕が繭をつくるマス状の道具もあり、その一つ一つに驚いている子どもたちでした。

1 時間以上見学した後は、最後にお待ちかねの休み時間。トランポリンのような大きな白い山の上で飛び跳ねて大喜びの子どもたちです。1・2 年生共に、楽しい時間を過ごすことができました。蚕を大切に育てようという気持ちを更に深めた見学になりました。

